

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、以下に助成事業の概要を簡潔に記入してください。  
 下記に必要事項を記入または○をつけてください。1ページ以内に収まるよう記入してください。

組織・グループ名	NPO 法人 かるがも CP キッズ
グループの属性	◎①セルフヘルプグループ・当事者団体等 ②ボランティアグループ等 ③市町村社会福祉協議会及びそれを構成員とする実行委員会等
助成区分 該当テーマ等	◎①一般助成 ②協働モデル助成 ※②を選択した場合、本会の提示した該当テーマを記入 [ ]
助成事業名	肢体不自由児と家族の交流及び支援事業

助成事業の概要〔目的・取組み概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入。

### <助成事業の概要>

対面でのワークショップ開催が困難な状況が続く中、障害のある子どもを育てるパパやママの孤立を防ぐためにはどうすれば良いのかを模索しました。

【ピアサポートひまわり】には、休園・休校により子どもと過ごす時間が増えた保護者から「できないところばかりが目につく」という相談が顕著に増加したため、個別対応していたオンラインカウンセリングをグループ対応とし、『zoom お茶会』のような雰囲気、不安や悩みを気楽に話せる場を提供しました。この企画はとても反響がありました。助成のおかげでボランティアさんに謝礼を出したり、サポーター向けの講習会を行うことができたため、クオリティの高いピアサポートが実現しました。



### <大好評オンライン講座とブレイクアウトセッション>

専門家によるオンライン講座の後には、ブレイクアウトセッション機能を使い、ピアサポーターボランティアがファシリテートしながら、参加者の困りごとを共有しました。今年度は、オンライン講座やひまわりを合わせ、延べ200名以上の方にご参加頂くことができました。オンライン企画は移動する必要がないため、時差が少ないオーストラリアや韓国やシンガポールからの参加もありました。この取り組みを次年度の特殊教育学会で発表したいと思っています。

### <やっと対面が実現>

2021年12月。感染が一時的に落ち着いたタイミングで、急遽、近隣大学の構内をお借りし、ゼミ生の協力の元、2年ぶりに対面でのクリスマス会が実現しました。県内在住であり、さらに車で移動できる方を限定として、先着7家族（学生ボランティアを含む50名）で開催しました。次年度も感染状況を見ながら、オンラインと対面を組み合わせたワークショップを開催していきます。

今年度の事業が無事に終了できたのは、助成のおかげです。本当にありがとうございました！！

